

# 地元の祭りと遊休地の活用で、 農業を核とした地域づくりを推進

- 地域社会の振興機能 -

かつれんはえばる

## 勝連 南風原 地区



勝連南風原地区において  
一面に広がるオクラ畑

勝連南風原地区は、勝連半島のつけ根付近に位置する農村地域であるが、地区を含む沖縄本島中部の高齢化や担い手不足に悩まされてきた。しかし近年、与勝地下ダム整備により、農業用水が安定して供給されるようになったことから、農業生産の推進にとどまらず、集落の活性化にも取り組んでいる。

特に当地区では、地域一体となった「オクラ特産品開発による地域振興」を目標に掲げ、沖縄県中部改良普及センターを中心に様々な機関とも連携を図りながら、地産地消や新たな用途開発等に積極的に取り組んでおり、農業を核とした地域づくりを進めている。



沖縄県うるま市



かつちん南風原祭りにて  
踊りを披露する子供達

### 〔地域社会の振興機能〕

当地区では、地下ダム供用開始後の平成 22 年より、地域をあげて毎年 2 ~ 3 月に「かつちん南風原祭り」を開催している。この祭りではオクラの料理コンテストや地元の野菜即売会などが行われ、地元の豊かな農産物や生産者の取り組みを、広く地域の方々に知っていただくと共に、地域との交流を深めるきっかけとなっている。祭りには、地元住民だけでなく他地域の住民も多く参加し、オクラを始めとした地域農産物の PR に大きく貢献している。

### 〔体験学習と教育機能〕

当地区では、オクラ農家と地元の女子高校生が連携し、青果として出荷出来ない規格外のオクラを使った「オクラ麺」を開発・商品化しており、現在は販路拡大に向けた取り組みを地域をあげて行っている。オクラ麺は、地元小学校の給食でも提供され、地産地消や食育などと併せ、地域の「農業」の姿を伝えることに役立っている。

平成 27 年からは、遊休地となっていた畑を再生し、地元農家の指導の下、非農家を対象に、栽培・収穫などの農作業を体験してもらい取り組みも進めている。ここで収穫した農作物は農園利用者と一緒に調理し、食すことで、遊休地の利活用のみならず、非農家の方々に地元の農業や農産物への理解を広めている。



オクラの料理コンテストに  
訪れた地域の人々



高校生が地元農家等と協力  
して開発したオクラ麺



給食に提供されたオクラ麺を  
おいしそうに食べる生徒達



手軽に農作業体験が  
できる二坪農場